

釧路・根室管内 経済情勢報告

(令和7年7月から9月期)

財務省 釧路財務事務所

URL <https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/kushiro/>

【問い合わせ先】
財務省釧路財務事務所財務課
電話0154(32)0701

【 目 次 】

概 況	・ ・ ・ ・ ・	1
個人消費	・ ・ ・ ・ ・	2
観 光	・ ・ ・ ・ ・	3
雇 用	・ ・ ・ ・ ・	4
生乳生産	・ ・ ・ ・ ・	5
漁 業	・ ・ ・ ・ ・	5
住宅建設	・ ・ ・ ・ ・	6
公共事業	・ ・ ・ ・ ・	6
企業倒産	・ ・ ・ ・ ・	7
金 融	・ ・ ・ ・ ・	7

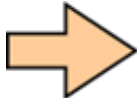
【利用上の注意】

- 数字の単位未満は原則として四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 本指標は、データ提供先の数値訂正や推計方法の変更等により、過去に遡って訂正する場合がある。

概 況

個人消費は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。観光は緩やかに回復している。雇用は持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。

このように、管内経済は、緩やかに持ち直しつつある。

	前回（令和7年4月～6月期）	今回（令和7年7月～9月期）	前回比較	備考
総括判断	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある		

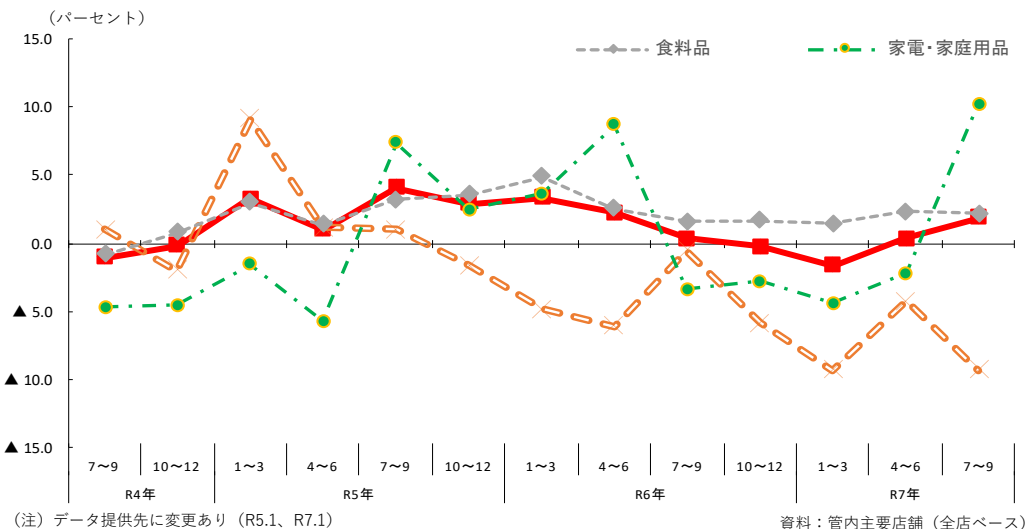
個人消費	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		
観 光	回復しつつある	緩やかに回復している		上方修正は、令和7年1月～3月期以来、2期ぶり
雇 用	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている		

生乳生産	前年を上回る	前年を上回る		
漁 業	水揚量、水揚金額ともに前年を下回る	水揚量、水揚金額ともに前年を下回る		
住宅建設	前年を下回る	前年を上回る		上方修正は、令和5年4月～6月期以来、9期ぶり
公共事業	前年を下回る	前年を下回る		

先行き	先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果が景気の持ち直しを支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続の影響等も、景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。			
-----	---	--	--	--

持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

主要小売店売上高（前年同期比）



- 主要小売店売上高は、衣料品が前年を下回っているものの、食料品及び家電・家庭用品が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

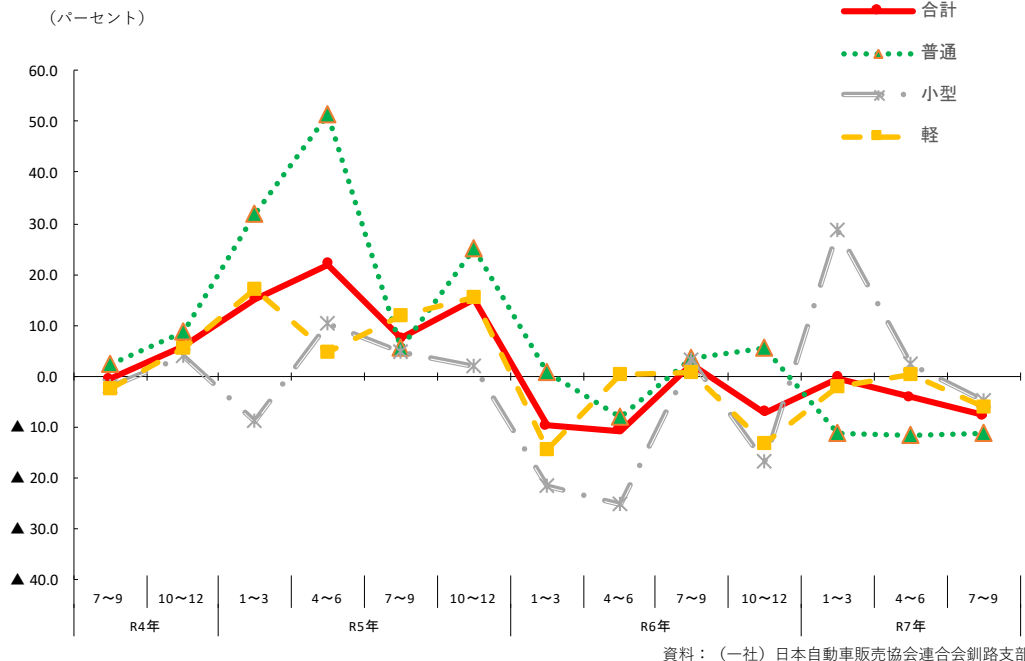
【前年同期比（単位：パーセント）】

合計1.9 衣料品▲9.3 食料品2.2 家電・家庭用品10.2

【企業・関係団体の生の声】

- 衣料品は、定価で買わずセールで値段が下がった時期に購入する傾向があるほか、ブランド服が振るわなかったことから、前年を下回っている。
- 食料品は、肉類で小型パックより単価が安い大容量パック販売が好調なほか、割引デーにおけるまとめ買いなど、必要なものを割安に購入する行動がみられる。
- 家電・家庭用品は、新規出店などを要因として売上げが増加している。最新モデルではなく、予算に収まる低価格帯や旧型モデルを購入する顧客が目立つ。
- 夏の気温上昇により、アイスや飲料水などのドリンク類、通気性のよい機能性肌着や日傘、制汗用品、スポットクーラーやハンディファン等が好調であった。

乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）



- 乗用車新車登録・届出台数は、前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

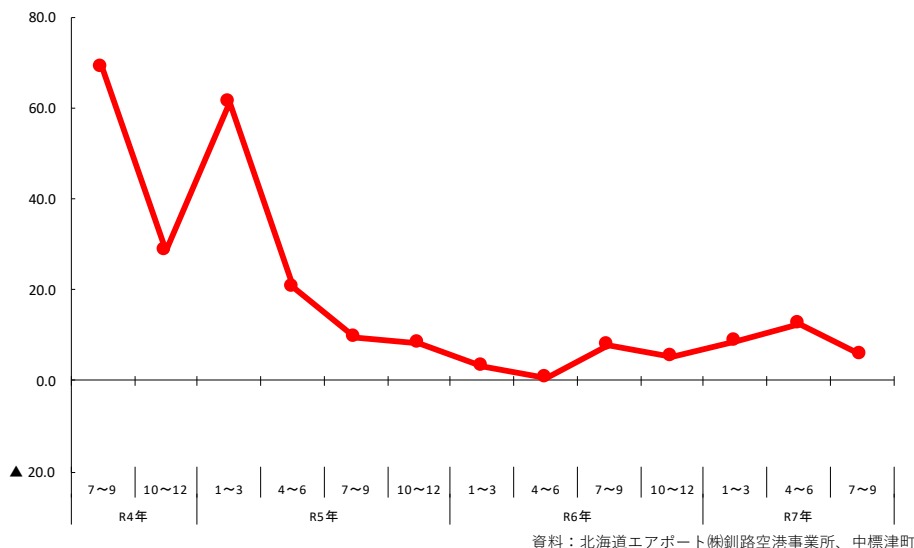
合計▲7.8 普通▲11.3 小型▲4.9 軽▲6.1

【企業・関係団体の生の声】

- 各メーカーで、新車投入が少なかったことが登録台数減の要因の一つと考えられる。

空港乗降客数（前年同期比）

（パーセント）



- 空港乗降客数は、道外便、道内便ともに前年を上回っている。海外便は運航がなかった。

【前年同期比（単位：パーセント）】

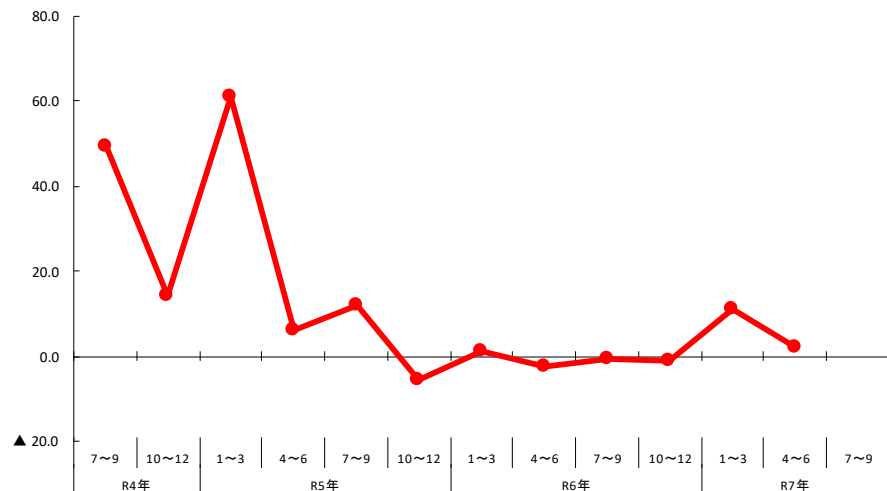
・ 空港乗降客数
合計5.8 道外便5.7 道内便6.1 海外便－

【企業・関係団体の生の声】

- 空港乗降客数について、欠航便の減少や一部運航便の大型化等により、前年を上回っている。
- 国内客については、道外からのツアー、スポーツ大会の開催、スポーツ合宿による団体客の利用、家族連れ層・高齢層といった個人客の利用がみられる。
- インバウンドについては、中国からの個人客が増加している。
- 物価高騰の影響を受け、宿泊単価上昇が継続している。
- 足下の状況について、10・11月はイベント（全道高校書道展、国際ロータリー大会）等の開催があるものの、12月以降は前年よりスポーツ大会の開催が少ないことから前年並みになる見込みである。

宿泊客数（前年同期比）

（パーセント）



※R7.7-9の宿泊客数は未集計

有効求人倍率



- 有効求人倍率は、有効求人数が減少し、有効求職者数が増加したことから、前年を下回っている。
- 新規求人数は、医療・福祉業などの業種で前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

有効求人倍率**1.24倍**

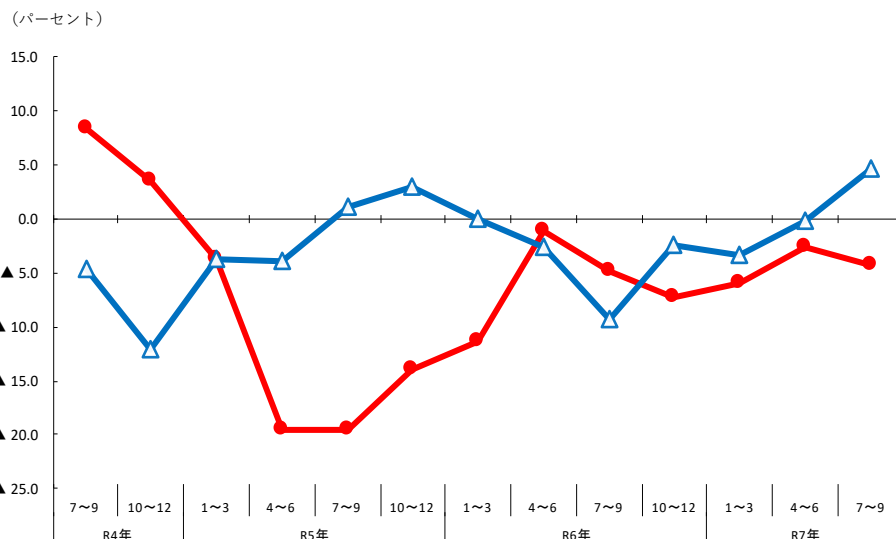
【前年同期比（単位：パーセント）】

有効求人数▲4.3 有効求職者数4.5 新規求人数▲7.2

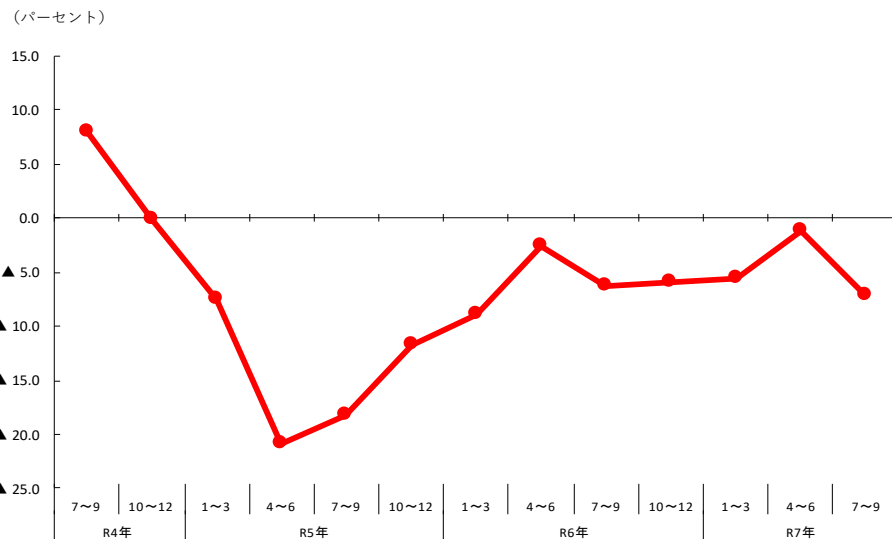
【企業・関係団体の生の声】

- 物価、燃料費、人件費等のコストが増加している中、先行きが見えない状況が継続している。人手不足ではあるものの、今は人を増やさずに現状の人員で対応したいと考えている企業が多い。
- 物価高騰の状況から、より良い条件を求めて転職を希望する人や年金だけでは生活が苦しい高齢者が求職する動きが見られている。

有効求人数・求職者数（前年同期比）



新規求人数（前年同期比）

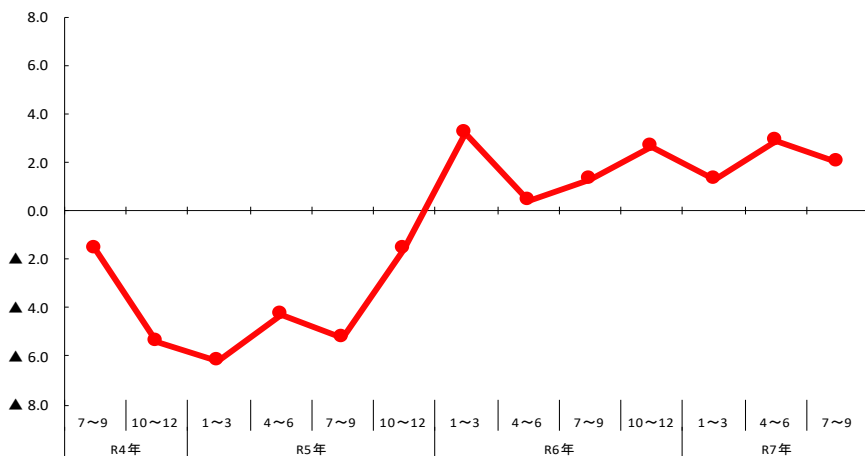


生乳生産

前年を上回る

生乳生産量（前年同期比）

（パーセント）



資料：ホクレン釧路、中標津支所

- 生乳生産量は、釧路、根室地域ともに前年を上回っている。

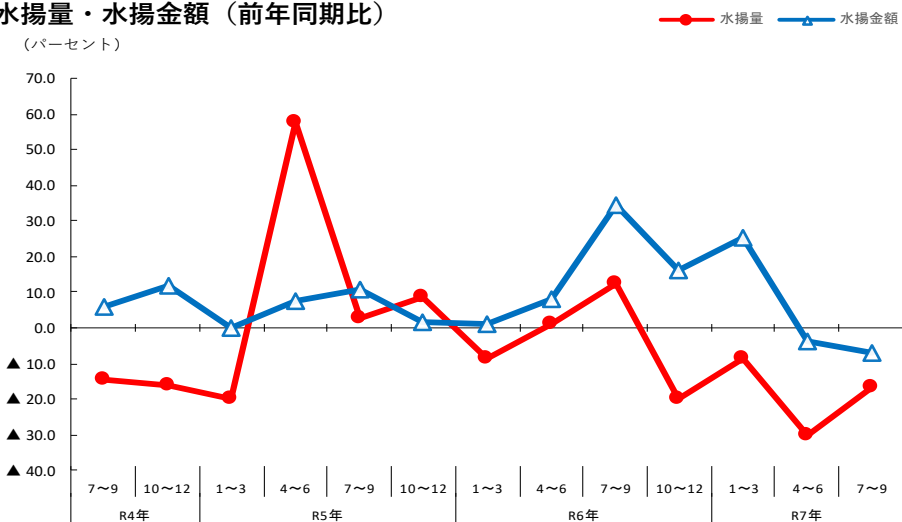
【前年同期比（単位：パーセント）】 合計2.0 釧路3.4 根室1.1

漁業

水揚量、水揚金額ともに前年を下回る

水揚量・水揚金額（前年同期比）

（パーセント）



資料：主要6先

- 水揚量、水揚金額ともに、イワシ、サケなどが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 水揚量▲16.6 水揚金額▲7.1

住宅着工戸数（前年同期比）

（パーセント）



資料：国土交通省

- 住宅着工戸数は、持家が前年を下回っているものの、貸家、分譲住宅、給与住宅が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】

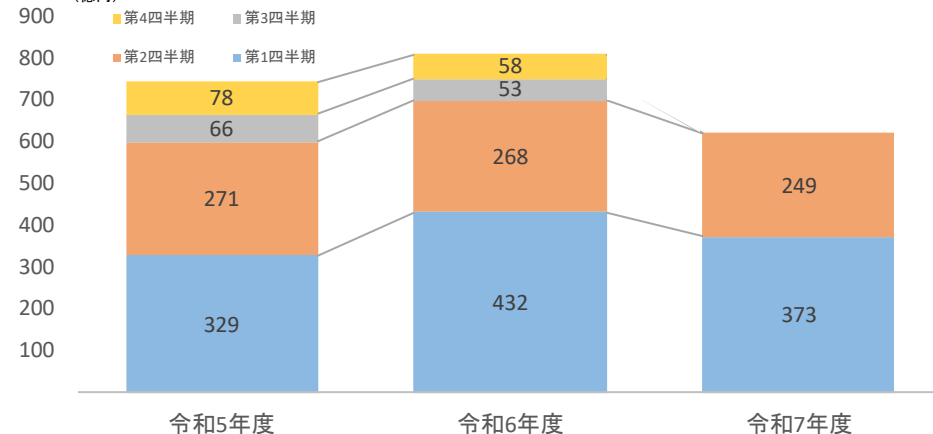
合計54.9 持家▲15.6 貸家3.1倍 分譲住宅25.0 給与住宅皆増

【企業・関係団体の生の声】

- 建設コストの増加から新築の受注はかなり低い水準となっているが、リフォームの受注は補助金の影響もあり順調となっている。
- 住宅価格が高くなる長期優良住宅の建築確認申請件数が前年比で減少しており、建設コストの増加に給与水準の伸びが追いついていないことを表していると思われる。
- 4月からの建築基準法などの改正に伴い、着工前の申請・審査に時間を要したため、戸数の集計が7月以降に集中した。

前払金保証請負金額

（億円）



資料：北海道建設業信用保証㈱

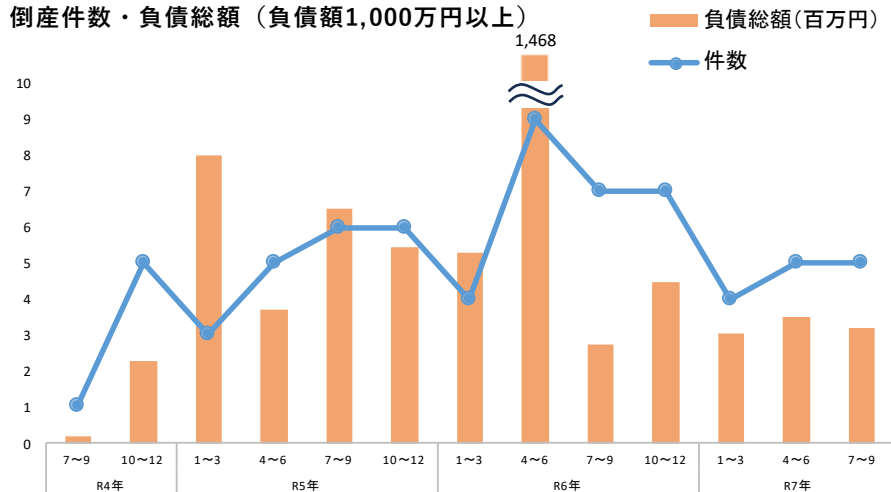
- 前払金保証請負金額でみると、北海道、市町村が前年を上回っているものの、国などが前年を下回っていることから、全体では前年を下回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】 第2四半期▲7.2 年度累計▲11.2

企業倒産

倒産件数は前年を下回り、負債総額は前年を上回る

倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）



資料：㈱東京商工リサーチ

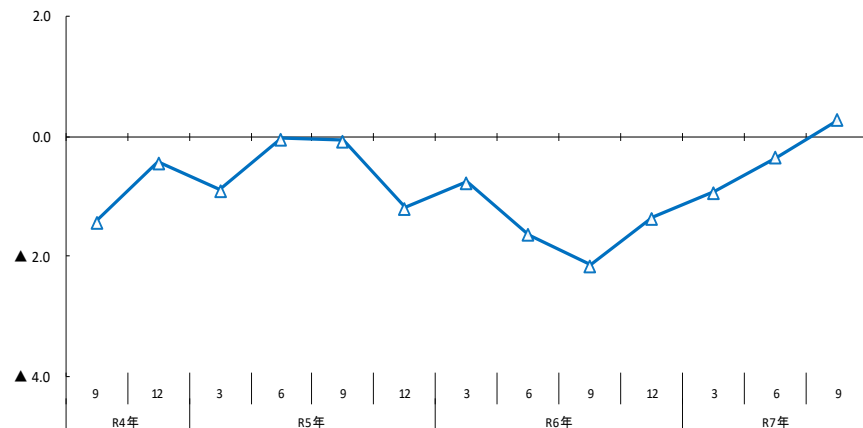
- 倒産件数は5件で前年を下回っており、負債総額は255百万円で前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】負債総額16.4

金融

貸出金残高は前年を上回る

貸出金残高（前年同期比）
（パーセント）



資料：管内銀行、信用金庫、信用組合（※R7.3より信用組合の数値追加）

- 貸出金残高は前年を上回っている。

【前年同期比（単位：パーセント）】貸出金残高0.3